

令和2年度における第2期芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価・検証

第2期総合戦略では、地方創生の実現にむけ、4つの政策目標と39の具体的施策を掲げるとともに、各施策を推進しています。これらの施策に対して、基本目標および重要業績評価指数（KPI）の達成状況を評価しました。

1 基本目標の進捗状況

政策目標 I 芦屋の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる

	基準値	目標値	実績値	評価
観光入込客数	634,274人 (平成30年)	654,000人 (令和6年)	人 (令和2年)	評価未定 ※令和2年の観光入込客数については、8月ごろ確定します。
助成事業による 移住・定住者 (累計)	161世帯 (平成30年度)	340世帯 (令和6年度)	244世帯 (令和2年度)	目標値を達成しました。 町内及び近隣の不動産業者に対し、各種支援制度の紹介チラシを送付しました。 定住促進奨励金制度の期間を再延長しました。(令和6年1月1日取得分まで)

政策目標Ⅱ 芦屋ならではのしごとづくりを進める

	基準値	目標値	実績値	評価
空き店舗等活用補助金の新規交付件数（累計）	6 件 （平成 30 年度）	16 件 （令和 6 年度）	8 件 （令和 2 年度）	目標値を達成しました。 商工会及び町内の金融機関に支援事業のチラシを配布し、PRを行いました。
農商工等連携事業数（累計）	10 事業 （平成 30 年度）	20 事業 （令和 6 年度）	10 事業 （令和 2 年度）	目標値を達成できませんでした。 特産品開発事業として商工会へ補助金を交付し、農商工等連携を推進していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、域外への出店やイベント等への出店が困難な状況となりました。

政策目標Ⅲ 若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

	基準値	目標値	実績値	評価
合計特殊出生率	1.81 （第 1 期総合戦略期間中の平均）	1.83 （令和 4 年度）	1.49 （平成 30 年度）	目標値を達成できませんでした。 第 1 期総合戦略期間中の平均は 1.81 となりましたが、平成 30 年度は 1.49 でした。
新婚・子育て世帯民間賃貸住宅家賃補助金新規交付件数（累計）	64 件 （平成 30 年度）	140 件 （令和 6 年度）	90 件 （令和 2 年度）	目標値を達成しました。 新婚世帯民間賃貸住宅家賃補助金及び子育て世帯民間賃貸住宅家賃補助金を交付しています。 補助内容（期間・金額）の見直しを実施（令和 3 年度から適用）※交付期間を 3 年間から 6 年間、1 年あたりの限度額を 24 万円から 12 万円に見直し。

政策目標Ⅳ ずっと住み続けたい、時代にあった地域をつくる

	基準値	目標値	実績値	評価
芦屋タウンバス 年間利用者数	109,089 人 (平成 30 年度)	120,000 人 (令和 6 年度)	75,059 人 (令和 2 年度)	目標値を達成できませんでした。 利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少しています。令和 2 年度から、市営バ斯特急(小倉便)の運行を開始しました。また、利便性向上のため、ベンチ設置を行いました。
北九州市との広 域連携事業数	17 件 (平成 30 年度)	17 件 (令和 6 年度)	19 件 (令和 2 年度)	目標値を達成しました。 北九州市との連携中枢都市圏構想における連携ビジョンに基づき、共同事業推進と今後の事業化にむけた担当者間での情報交換等を実施しました。

2 具体的施策の進捗状況

39の具体的な施策における、令和2年度における第2期総合戦略のKPI達成状況について以下のとおりに区分し、評価を行いました。

区分	達成状況	令和2年度評価
AA	当初の計画を前倒しで推進している	0 施策 (0.0%)
A	計画どおり推進している	13 施策 (33.3%)
B	一部を除き当初の計画どおり推進している	25 施策 (64.1%)
C	全体的に当初の計画から遅れている	1 施策 (2.6%)

令和2年度における第2期総合戦略の評価として、一定以上計画どおり推進しているものは、A及びB評価の合計38施策(97.4%)となりました。一方計画通り進んでいないものはC評価の1施策(2.6%)となっています。